

報道発表

平成 27 年 8 月 28 日
財 務 省

地方自治法施行 60 周年記念貨幣(福島県、東京都)の図柄等を決定しました

1. 財務省は、地方自治法施行 60 周年記念貨幣(47 都道府県ごとの図柄)のうち、平成 28 年度に発行予定の福島県及び東京都の貨幣(千円プレミアム型銀貨幣及び五百円バイカラー・クラッド貨幣)の図柄を以下のとおり決定し、別紙のとおり発行することとしました。

(表面)

| 額面 | 福島県 | 東京都 |
|-----|---|---|
| 千円 |  <p>野口英世<small>ぼんだいさん</small>と磐梯山<small>いなわしろこ</small>と猪苗代湖</p> |  <p>東京タワーとレインボーブリッジと ユリカモメ</p> |
| 五百円 |  <p>相馬野馬追<small>そうまのまおい</small></p> |  <p>東京駅丸の内駅舎と行幸通り</p> |

(注 1) 上記の記念貨幣の実際の直径は、千円貨幣は 40 ミリメートル、五百円貨幣は 26.5 ミリメートルです。

(注 2) 裏面は各都道府県共通となっています。

(注 3) 図柄の詳細につきましては参考 1 及び 2 をご覧ください。

(注 4) バイカラー・クラッド貨幣とは、異なる種類の金属板をサンドイッチ状に挟み込む「クラッド」技術でできた円板を、それとは異なる金属でできたリングの中にはめ合わせる「バイカラー」技術を組み合わせたものです。

2. 地方自治法施行 60 周年記念貨幣（47 都道府県ごとの図柄）のうち、平成 27 年度後半に発行予定の和歌山県、大阪府、長崎県及び千葉県 の五百円貨幣の発行枚数を、取扱金融機関の希望枚数等を踏まえ、以下のとおり決定しました。

和歌山県、大阪府、長崎県及び千葉県の五百円貨幣の発行枚数

| 都道府県名 | 和歌山県 | 大阪府 | 長崎県 | 千葉県 |
|----------------|---|---|--|---|
| 図柄 (表面) |  |  |  |  |
| 発行枚数 | 161 万枚 | 170 万枚 | 160 万枚 | 168 万枚 |
| うち金融機関 取扱枚数 | 142.6 万枚 | 150.8 万枚 | 141.8 万枚 | 149.4 万枚 |
| うち造幣局 販売枚数 | 18.4 万枚 | 19.2 万枚 | 18.2 万枚 | 18.6 万枚 |

(1) 金融機関での引換えについて

- ①金融機関の窓口等において、額面価格により引換えを行います。
- ②引換時期は平成 28 年 1 月頃を予定しており、具体的な引換要領については、平成 27 年 12 月頃、財務省から発表する予定です。

(2) 造幣局における貨幣セットの販売について

- ①独立行政法人造幣局において、貨幣セットとして販売されます。そのうち一部はプルーフ加工（特殊な技術を用いて製造し表面に光沢を持たせたもの）を施した上で販売されます。
- ②貨幣セットの申込方法及び受付期間等の販売要領については、平成 27 年 12 月頃、独立行政法人造幣局から発表される予定です。

3. 日本郵便株式会社の発行する記念の切手との連携

地方自治法施行 60 周年記念貨幣の発行と連携して、日本郵便株式会社においても同時期に記念の切手の発行を予定しています。

- (1)切手発行の詳細は、日本郵便株式会社から発表される予定です。
- (2)独立行政法人造幣局において、記念の切手と千円銀貨幣等をセットにした貨幣セットを販売します。詳細については、今後、独立行政法人造幣局から発表される予定です。

| |
|--|
| <p>連絡・問い合わせ先 理財局 国庫課 通貨企画調整室 通貨企画係 電話（代表）03-3581-4111 内線 2556・5238</p> |
|--|

1. 千円銀貨幣の概要

| | 福島県 | 東京都 |
|----------------------|--------------------------------|------------------------------|
| 額面 | 千円 | |
| 素材 | 銀 | |
| 品位 | 純銀 | |
| 量目 | 31.1グラム | |
| 直径 | 40ミリメートル | |
| 彩色 | 白色、灰色、青緑色、水色、青色、茶色、黄土色、黄緑色及び緑色 | 白色、黒色、水色、青色、青紫色、赤色、茶色及びオレンジ色 |
| その他の特徴 | 斜めギザ、潜像等 | |
| 発行枚数 | 各10万枚 | |
| 申込予定時期 (商品発送予定時期) | 平成28年4月頃 (平成28年6月頃から) | 平成28年5月頃 (平成28年7月頃から) |
| 販売価格 | 6,171円 | |

(注1) 本記念貨幣は、彩色を施したカラーコインです。

(注2) 本記念貨幣は、独立行政法人造幣局が販売するプレミアム型の記念貨幣です。素材に貴金属（純銀）を使用し特殊な技術を用いて製造することから、貨幣の製造等に要する費用が額面価格を上回るものです。

(注3) 本記念貨幣の販売要領については、平成28年4月頃から順次、独立行政法人造幣局から発表される予定です。

2. 五百円バイカラー・クラッド貨幣の概要

| | 福島県 | 東京都 |
|--------|------------------------|-----|
| 額面 | 五百円 | |
| 素材 | ニッケル黄銅、白銅及び銅 | |
| 品位 | 銅75%、亜鉛12.5%、ニッケル12.5% | |
| 量目 | 7.1グラム | |
| 直径 | 26.5ミリメートル | |
| その他の特徴 | 異形斜めギザ、潜像等 | |
| 発行枚数 | (今後政令で定めます) | |
| 引換予定時期 | 平成28年7月頃 | |

(注1) 本記念貨幣は、金融機関の窓口において額面価格により引換えを行います。

(注2) 本記念貨幣の発行枚数については、取扱金融機関の希望枚数等を踏まえ、今後、政令で定めます。

(注3) 本記念貨幣の引換要領については、平成28年6月頃、財務省から発表する予定です。

地方自治法施行 60 周年記念貨幣(福島県)の表面図柄の説明

①千円銀貨幣(表面)(1.5倍/原寸)

ぼんだいさん いなわしろこ
『野口英世と磐梯山と猪苗代湖』



○野口英世と磐梯山と猪苗代湖をデザインしています。

※野口英世

福島県出身の細菌学者。ロックフェラー医学研究所にて細菌学の研究に従事し、黄熱病や梅毒等の研究で知られる。黄熱病の研究中に自身も罹患し、ガーナ共和国のアクラで 51 歳で死去。

※磐梯山

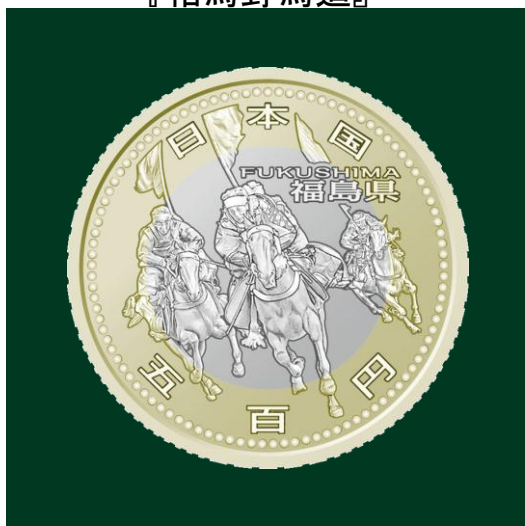
福島県耶麻郡の猪苗代町、磐梯町及び北塩原村の 3 町村にまたがる日本百名山のひとつで、福島県を代表する山。会津富士や会津磐梯山とも呼ばれている。

※猪苗代湖

福島県の会津若松市、郡山市及び耶麻郡猪苗代町にまたがる日本で 4 番目に広い湖で、福島県のほぼ中央に位置する県を代表する湖。平成 14 年度から平成 17 年度まで、4 年連続で湖沼の中で水質日本一になったこともある。

②五百円バイカラー・クラッド貨幣(表面)(2倍/原寸)

そうまのまおい
『相馬野馬追』



○相馬野馬追から甲冑競馬の様子をデザインしています。

※相馬野馬追

福島県相馬市、南相馬市(旧小高町を含む)において、甲冑に身を固めた 500 余騎の騎馬武者が腰に太刀、背に旗指物をつけて疾走する豪華絢爛で勇壮な戦国絵巻を繰り広げる、福島県を代表する祭りの一つである。

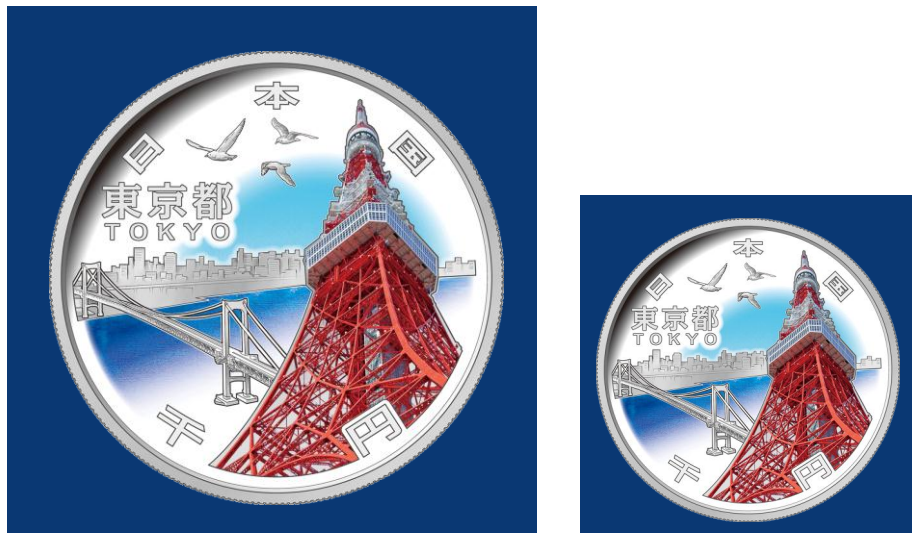
※甲冑競馬

兜を脱いで、白鉢巻きをしめた甲冑姿の若武者の騎馬が 10 頭立てで一週 1,000m の速さを競う。

地方自治法施行 60 周年記念貨幣(東京都)の表面図柄の説明

①千円銀貨幣(表面)(1.5倍/原寸)

『東京タワーとレインボーブリッジとユリカモメ』



○東京タワーとレインボーブリッジとユリカモメをデザインしています。

※東京タワー

1958年(昭和33年)に開業。高さは333メートル。2013年(平成25年)に国の登録有形文化財に登録された。

※レインボーブリッジ

1993年(平成5年)に開通。吊橋部の長さは918メートル。上層は首都高速11号台場線、下層は臨港道路及び新交通システム「ゆりかもめ」の二重構造のつり橋。

※ユリカモメ

都民の鳥に指定されている。

②五百円バイカラー・クラッド貨幣(表面)(2倍/原寸)

『東京駅丸の内駅舎と行幸通り』



○東京駅丸の内駅舎と行幸通りをデザインしています。

※東京駅丸の内駅舎

1914年(大正3年)に創建。設計は辰野金吾^{たつのきんご}。1945年(昭和20年)に戦災により南北のドームの屋根部分や内装を焼失。2003年(平成15年)に国の重要文化財に指定された。2012年(平成24年)に創建当時の姿に復原された。

※行幸通り(特例都道404号線:皇居前東京停車場線)

東京駅丸の内駅舎前の広場から皇居に向かう行幸通りは、皇室の公式行事や外国大使の信任状捧呈の車列に使われる由緒ある道路である。

(東京都作成資料より)